

第七十六回帝國議會
衆議院

治安維持法改正法律案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
治安維持法改正法律案(政府提出
(第八二號))

會議

昭和十六年二月十九日(水曜日)午前十一時
三十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 英明君

理事泉 國三郎君 理事眞鍋 勝君

理事世耕 弘一君

江原 三郎君

田村 秀吉君

中村 高一君

藤本 捨助君

藤田 若水君

三田村武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 柳川 平助君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 田中 隆吉君

司法省刑事局長 秋山 要君

司法省行刑局長 金澤 次郎君

司法書記官 太田 耐造君

教務局長官 藤野 惠君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 中山 福藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法改正法律案(政府提出)

○服部委員長 是ヨリ開會致シマス

○柳川國務大臣 一昨日眞鍋サンカラ政事

ト云フ言葉ノ定義ニ關シテ御質問ガアツテ、

政府ノ經マツタ意見ヲ答ヘヨト云フコト

デアリマシタガ、アノ質問ハ貴族院デ織田

博士カラ出マシテ、當時法制局長官カラ御

答ヘ申上ゲテ居ルノデゴザイマスガ、質問

ガ政事トハ現在ノ事柄ニ關係ノアル言動ト

云フヤウニ質問者カラ出マシタノニ對シテ、

法制局長官ハ其ノ通りニ考ヘテ居リマス

言ツテ、アトハ實際ノ翼賛會ノ問題ヲ例ト

シテ御答ヘ致シテ居リマス、質問サレタ織

田博士ハ、翼賛會ニ關スル現在ノ事態トハ

離レテ、言葉ニ付テノ質問デアツタノデゴ

ザイマス、ソレデ眞鍋サンノ政事ト云フ言

葉ノ御質問ニ對シマシテハ、當時法制局長

官ガ答ヘタ通りニ考ヘテ居ル次第デアリ

マシテ、其ノ影響ガ翼賛會ニ及ブト云フコト

デアリマスナラバ、翼賛會ニ關シマシテハ、

經マツタ答辯ヲ豫算委員會デサレコトニ

ナツテ居リマスカラ、其ノ方デ御諒承ヲ願

フコトニ致シマシテ、此處デハ申上ゲヌコ

トニ致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○眞鍋(勝)委員 大臣ノ御答辯ハ昨日刑事

局長官カラ承ツテ了承シテ居リマス、ソレ

デ此ノ上ハ法制局長官ノオイデヲ願ツテ御

話ヲ承ルコトニナツテ居リマスガ、他ノ委

員會ニ御出席デ、マダ御見エニナラヌコト

トデアリマスガ、翼賛會ノ性格ヲ究ムル上

ニ於テモ必要デアリマスシ、翼賛會ガ法的

ニ公事結社ガ政事結社カト云フコトハ判然

確メテ置カスト、將來甚ダ不便、不都合ナ

コトガ起ルダラウト存ジマスノデ、念ノ爲

ニ確メヨウト思フノデアリマスガ、折角大

臣モ御見エニナルシ、刑事局長モ御出席ニ

ナツテ居リマスカラ、今一ツ詳シク實例ヲ

舉ゲテ御指教ヲ仰イデ置キタイコトガアリ

マス、ソレハ今問題トナツテ居リマス政事

結社デアリマセヌガ、所謂治安警察法ノ

第三條ノ公事ニ關スル結社トハ如何ナルモ

ノカ、ソレヲ一ツ具體的ニ、例ヘバ郡農會

トカ、縣農會トカ、ドウ云フモノガ此ノ公

事結社ニ屬スルカ、例ヲ舉ゲテ公事結社ノ

定義ト云フヤウナモノヲ御示シ願ツテ置キ

マシタラ、法制局長官ガオイデニナリマシ

テ御聽キ致シマス時ニ、大變便利カト存ジ

マス

○服部委員長 只今ノ眞鍋君ノ質問ニ對ス

ル答辯ハ後廻シニ致シマシテ、此ノ際小畑

君ノ質問ノ要領ヲ一ツ簡單ニ述ベテ戴キタ

イト思ヒマス

○小畑委員 昨ハ一日昨日昨日ノ二日ニ互

リマシテ、質問ヲ致シマシタ事柄ノ要領ダ

ケヲ簡單ニ申上ゲマス、第一ハ治安維持法

ノ法案ニ現ハレテ居リマス所ハ、國體ノ

變革ト私有財産否認ノ思想ヲ取締ルト云フ

コトデアリマシテ、私有財産ノ否認ニモア

ラズ、又國體ノ變革ニモアラザル憲法否認

ノ思想ヲ取締ル所ノ規定ガ、缺如シテ居ル

ト思フノデアリマス、左様ニ解シテ宜シイ

カト云フコトデアリマス、第二ハ、若シ治

安維持法ヲ以テ是等國體ノ變革ト、私有財

産ノ否認ニ關係ナキ部分ノ憲法否認ノ思想

ヲ取締ルコトガ出來ナイト致シマシテモ、

現行ノ我が國ノ他ノ法規ニ依ツテ取締ルコ

トガ出來ルノデアルカ如何、細大漏ラサズ

憲法否認ノ思想ヲ取締ル所ノ規定ガアルカ

ドウカ、斯ウ云フコトデアリマス、第三ハ、

私有財産否認ノ思想ヲ取締ル規定ノ中デ、

其ノ思想ヲ宣傳致シマシタル者ニ對スル處

罰規定ガ、缺如致シテ居ル點デアリマス、

近時御承知ノ通り、私有財産否認ノ思想ヲ

宣傳スル者ガ絶無デナイ状態ニナツテ參リ

マシタ、之ヲ取締ルノ必要アルコトハ申ス

マデモナイノデアリマス、ソコデ先般來ノ

御答辯カラ見マスルト、私有財産否認ノ思

想ヲ宣傳シタル者ハ、或ハ場合ニ依リ煽動

罪トシテ之ヲ處罰シ、或ハ國體變革ヲ目的

トスル所ノ結社ニ關スルモノデアルトシテ處

分スルコトモ出來ル、又治安維持法ニ依ツテ

處罰スル場合モアル、斯ウ云フヤウナ御答辯

デアツタノデゴザイマスガ、治安維持法ニ

依ツテ處罰セラルル場合ハ、自ラ治安警察

法ガ規定スル所ノ犯罪構成要件ヲ必要トス

ルノデアルシ、又本法第一條以下ノ國體變革ヲ

目的トスル結社ニ關シマスル場合、即チ結

社ニ關スル場合デナケレバ取締ルコトガ出來

ナイ、ソレカラ煽動罪トシテ罰スルコトガ

出來ルト云フ御話デアリマスケレドモ、

本法ハ明カニ煽動罪ト協議罪ト宣傳罪トラ

區別シテ規定ヲシテ居ルノデアリマシテ、

煽動ト云フ文字ト協議ト云フ文字ト宣傳ト

云フ文字ハ、明確ニ之ヲ區別シテ取扱ツテ

居ラレルノデアリマス、國體變革ニ關スル

罪ニ於キマシテハ、此ノ三ツノ犯罪ガ取上

ゲラレテ居ルノデアリマスガ、私有財産否

認ノ罪ニ付キマシテハ、特ニ宣傳罪ガ缺如

致シテ居ル、是ガ抜イデアアル、是ガ私ノ

疑問ヲ持ツ一ツデアアルノデアリマス、何故

ニ私有財産制度否認ニ關シテノミ、宣傳ヲ罰スル所ノ規定ヲ設ケテ居ラレナイカ、是ハ宣傳ヲ罰スルト云フコトハ必要デナイ、私有財産制度ノ否認ノ思想ハ宣傳シテモ宜シイノデアル、斯ウ云フ御考ヘデアアルカ如何、若シ左様ナル思想ハ憲法ヲ紛淆スルモノデアアルカラ、取締ル必要ガアルケレドモ、特ニ宣傳罪ノ規定ガナクモ、他ノ法規デ取締ルコトガ出來ルト云フ御話モゴザイマシタケレドモ、今申シマシタヤウニ、他ノ法規ニ依ツテ取締ラレルニハ、各、ソレノ條件ヲ必要トスルノデアツテ、私有財産制度否認ノ思想ヲ宣傳シタ者ヲ、細大漏ラサズ悉ク之ヲ檢舉シ、之ヲ處罰スル所ノ規定ガ私ハナイト思フノデアリマス、ソコデ煽動罪トシテ取締ルト云フ場合モアルト云フ御話デアリマスガ、今申シマシタ通り、法律ハ明カニ煽動ト宣傳トヲ區別シテ居ルノデアリマスカラ、宣傳デモアリ、煽動デモアリト云フコトハ、私ハナイト思フノデアリマス、宣傳デアリ、煽動デアアル、此ノ事實上ハ一ツノ行爲ガ、法律上二ツノ行爲ニ該當スル、競合スルト云フ場合、煽動ト宣傳トガ競合スルト云フ場合ヲ、私ハ想像スルコトハ出來ナイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其ノ他私ノ疑問ヲ持チマスル點ハ、數千箇所ノ多キニ及ブト思フノデアリマス、一昨日以來當委員會ニ於テ議論致シマシタ疑義ノ點ハ、相當多數ニ上ツテ居ルノデアリマスケレドモ、近時議會ニ出テ參リマス法律案ニ付キマシテ、色々ノ疑義ガ起ツテ參リマスコトハ、獨リ司法省關係ノ問題ノミデハナク、又獨リ治安維持法ノ問題ノミデハナク、一切ノ法律案ガ、甚ダ失禮

デハゴザイマスケレドモ、私ハ大分杜撰ニ流レテ來タ傾向ガアルト思フノデアリマス、議會ニ出シサヘスレバ何時デモハ通ルノダト云フ御考ヘデアアルカトモ思ヒマスガ、ドウモ今日ノ法律ト云フモノハ、昔ト違ヒマシテ、非常ニ杜撰デアアル、穴ヲ探シテ行ケバ幾ラモアル、是ハ今申ス通り司法省ダケノコトデハナイ、斯ウ云フ傾向ハ廳デ今日ノ法律學生ノ氣魄ノ上ニモ、或ハ氣質ノ上ニモ非常ナ影響ヲ及ボシテ參リマシテ、今日ノ法律學生ト云フモノハ、昔ノ法律學生トハ違ヒマシテ、本當ニ法律ヲ根本カラ研究ヲシテ、サウシテ右カラ突イデモ、横カラ突イデモ、縦カラ突イデモ缺點ガナイト云フ所ノ概念ヲ確立シ、定義ヲ確立スルト云フ所ノ努力ニ缺ケテ居ル傾向ニ見受けラレルノヲ、私ハ頗ル遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ點モアリマスノデ、一々此ノ法條ヲ捉ヘテ、私ハ此ノ治安維持法ダケニ付テ嚴密ナル檢討ヲ加ヘルノガ本當ダト考ヘマスガ、此ノ際其ノ他ノコトハ一切議論スルコトヲ遠慮シテ、サウシテ最も重大ナル問題デアルト考ヘラレル二點ニ議論ヲ集中シテ御意見ヲ伺ヒタイト思フ次第デアリマス

○柳川國務大臣 御質問ノ第一點ハ國體變革ノ思想、私有財産制度否認ノ思想以外、憲法否認ノ思想ヲ罰スル條項ガ存シナイガ、是ハドウカト云フコトデアリマス、憲法否認ノ思想ハ即チ國體變革ノ思想ト同様デハナイカ、斯様ニ承リマシタ、憲法否認ノ思想ハ御意見ノ通りニ、延イテハ國體變革ノ思想ト何處カ通ズルヤウニナツテ、自然是ノ搜查取調ノ間ニ合體スル場合ガアラウト思ヒマスガ、サウデナクシテ、單ニ憲法否認ト云フダケノ單純ナル思想デアレバ、之ヲ直接取締リマス所ノ罰條ト致シマシテハ、刑法内亂罪ニ關スル規定、新聞紙法及ビ出版法ニ於ケル朝憲案亂又ハ國憲案亂ニ關スル處罰規定等ガアル譯デゴザイマス、之ヲ間接ニ取締ルベキ法條ト致シマシテハ、不穩當文書臨時取締法、治安警察法其ノ他ノ法律ニソレノ規定ガゴザリマス、憲法否認ノ問題デゴザイマスガ、憲法第一條ヲ否認スル思想ハ國體變革ノ思想デアルト云フコトハ、申スマデモナイコトデゴザイマスガ、政體變革ト云フ思想ヲ限定シテ考ヘレバ、直チニ國體變革ノ思想ト同一デアルトハ申上ゲラレナイデゴザリマセウト思ヒマス、政體變革ノ思想デハゴザイマスルガ、國體變革ノ思想、又ハ私有財産制度否認ノ思想ト同様ノ思想カラ、出發スル場合ガ多カラウト存ズルノデアリマス

次ノ御質問ノ點ハ、私有財産制度否認ノ思想ヲ流布宣傳スル行爲ヲ處罰スル規定ニ關スルコトデアリマスガ、御説ノ如ク之ヲ直接對象トスル規定ハ存シテ居リマセス、併シ既ニ政府委員ヨリ説明申上ゲマシタ如ク、過去ノ實績ニ徴シマシテモ、本改正案中ノ規定又ハ其ノ他ノ法律ノ罰則ニ依リマシテ、十分取締リ得ルト存ズルノデアリマス、尙ホ此ノ機會ニ一言當局ノ方針トシテ申上ゲタイト思フコトハ、國體變革ノ思想ニ關シテハ今更申スマデモナク、私有財産制度否認ノ思想ハ勿論、政體ヲ否認スル思想ニ關シマシテモ、他ノ法律ノ罰則ト相俟チマシテ、本改正案成立ノ曉ハ斷乎タル取締ヲ致シ、治安維持ノ完璧ヲ期シタイト存ジテ居ル次第デゴザイマス、此ノ點宜シク御諒承ヲ御願ヒ致シマス

○小畑委員 何時マデ申シマシテモ蒞問答ノヤウナコトデ洵ニ遺憾デアリマスガ、更ニ一言ダケ伺ヒマシテ質問ヲ打切りタイト思フノデアリマス、只今ノ司法大臣ノ御答辯ノ趣旨ハ、憲法否認ノ思想ガ外部ノ行動ニ現ハレマシタ場合、私有財産制度否認ノ思想ヲ外部ノ行動ニ現ハシマシタ場合ハ、治安維持法又ハ其ノ他ノ法律ニ依ツテ、細大漏ラサズ必ズ取締ガ出來ルコトニナツテ居ル、斯ウ云フ御意見デアルト致シマスルナラバ、私ハソレデ結構ダト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマス

○柳川國務大臣 今ノ御意見ノ通りニ細大漏ラサズ取締ガ出來ルコトヲ確信致シテ居リマス

○服部委員長 ソレデハ世耕君ニ、昨日ノ質問ノ要點ヲモウ一應此處デ述べテ戴イテ、サウシテ答辯ヲシテ戴クコトニ致シマス

○世耕委員 昨日政府ニ答辯ノ要求ヲ致シマシタノハ、憲法ノ第一條ニ所謂國體ニ關スル解釋、ソレカラ第二條、第三條ハ、天皇ノ御地位ニ關スル解釋、尙ホ第四條ハ、政體ニ關スル解釋ト吾々ハ信ジテ居ルノデアリマスガ、政府ハ此ノ解釋ニ御同意ナサルカ或ハ別ナ御意見ガアルカト云フコトヲ、御伺ヒシタイノデアリマス、尙ホ立ツタ序デニ御願ヒシテ見タイト思フコトハ、國體ノ問題ハ勿論デアリマスガ、所謂憲法否認、政體否認ト云フ問題ニ對シテハ十年前ノ司法省、内務省ノ態度ト、現在ノ司法省、内務省ノ態度ニハ、聊カ差異ガアルガ如ク吾々ハ感ゼラレルノデアリマス、此ノ點ニ付テ具體的ナルコトハ申シマセヌガ、信念ヲ伺

ツテ置キタイト思ヒマス

○柳川國務大臣 憲法ノ條文ニ關スル第一條乃至第四條ノ解釋ニ關スル御意見デゴザイマスガ、御説ノ通りニ憲法第一條ハ國體ノ根本デゴザイマシテ、我が帝國ノ統治權ノ主體ハ萬世一系ノ天皇ニ在シマスト云フコトヲ、明文ヲ以テ規定セラレタノデアルト存ジマス、即チ我が國體ガ世界無比ノ國體デアコトヲ明カニセラレタ規定デゴザイマス、第二條、第三條ハ御説ノ通りデゴザイマス、第四條ハ統治權ノ行使ハ憲法ノ條文ニ依リ之ヲ行ハセラルコトヲ明カニセラレタノデアリマシテ、若シ之ヲ政體トカ云フヤウナ、學術語ヲ用ユレバ、御説ノ通りニ立憲政治ノ政治樣式ヲ御示シニナツタ條項デアラウト存ズル次第デゴザイマス、ソレカラ附加ヘテ、十年前ノ司法省ト今日ノ司法省トノ斯ウ云フ問題ニ關スル考ヘガ、違ツテ居リハシナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、十年前モ、此ノ大切ナ事柄ニ付テハズツト前モ、今日モ亦將來モ、變ツテハナリマセヌ、又變ラナイト信ジマスガ、個々ノ人ノ言動等ニ付テ多少外觀ニ相違ノアル場合ハ或ハアツタカモ知レマセヌガ、斯ノ如キ大切ナ所ニ於テハ、變ツテハナラヌト信ジテ居ル次第デゴザイマス

○世耕委員 少シ先廻リノヤウデアリマスガ、司法大臣ニ時間ノ御都合モゴザイマセウカラ、私ハ希望ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス、本法案ハ國體、政體私有財産制度ニ關スル國家重要ナル法規デアリマスルガ故ニ、時局重大ノ折柄、本法運用ニ付テハ特ニ嚴肅ナル態度ヲ以テ臨ムベキデアルト思フノデアリマス、就デハ此ノ際委員長ヲ通ジ、政府ガ本法實施ニ當ル場合、政

府ノ確固タル信念ヲ重ネテ伺ツテ置イテ戴キタイ、此ノ希望デゴザイマス

○服部委員長 委員長ハ政府御當局ニ希望ヲ致シマス、本案ハ國體ニ關スル、又私有財産制度ニ關スル極メテ重要ナル國家ノ存立ニ關スル法案ト存ジマスルノデアリマサルカラ、之ヲ執行、適用セラレル場合ニ於テハ、諸般ノ事實ニ照シマシテ、嚴肅ニ御取扱ヲ願ヒタイ、尙ホ申シマスレバ、苟モ是等ノ法規ニ依ツテ律セラルベキ行為ガアリマシタナラバ、如何ナル階級ノ人デモ、如何ナル人ニ對シテモ、嚴肅裡ニ此ノ法規ヲ適用シテ戴キタイ、同時ニ本案第二章及ビ第三章ニ於テ、檢察官タル檢察ニ非常ニ擴大セル權限ヲ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、本案ニ關スル事案ニ對シテ檢察官ガ檢舉ノ場合ニハ、是亦職權濫用等ノ世評ノナイヤウニ、嚴肅ニ是亦檢舉取扱ヲ御願ヒシタイ、委員諸君ニ代ツテ此ノ希望ヲ申上ゲテ置キマシテ、政府ノ御言明ヲ御願ヒラ致シマス

○柳川國務大臣 只今世耕サンノ御意見デ、委員長ヲ經テ述ベラレマシタ本法ノ重大ナコト、玆ニ現時局ノ重大ナルコトニ關シマシテハ、全ク御同感デゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ、本法公布ノ上ハ最モ其ノ運用ニ注意ヲ致シマシテ、嚴格ニ實施ヲ致シ、運用ヲ致シ、又之ニ當ル司法官其ノ他ガ其ノ職權ヲ濫用シ、與ヘラレタ權力ノ大ナルコトヲ利用シテ彼此レ過チヲ犯シ、他ノ非難ヲ受ケルコトノナイヤウニ嚴重ニ戒飭ヲシ、相戒メテ、過誤ナキヲ期シタイト念願シテ居ル次第デゴザイマス、是ハ私申上ゲマスガ、政府全部ノ意見ト御認メヲ願ヒタイ次第デアリマス(拍手)

○服部委員長 休憩致シマス、午後一時ヨリ開會致シマス

午後零時五分休憩

午後二時三十分開議

○服部委員長 是ヨリ開會致シマス

○三田村委員 議事進行ニ付テ——一昨日ノ當委員會ニ於キマシテノ猪野毛委員ノ御質疑中、總理大臣ノ身上ニ關スル重大ナル御發言ガアツタノデアリマス、其ノ御發言ニ對シテ、當時御出席ノ內務大臣カラハ何等ノ御答辯ガナカッタノデアリマス、事苟モ總理大臣ノ身上ニ關スル重大問題デアリマスガ故ニ、此ノ委員會ノ責任ト致シマシテモ、政府御當局ノ言明ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス、其ノ點ニ對シマシテ幸ニ御出席ノ司法大臣ノ御言明ヲ得タイト思ヒマス、問題ハ此ノ點デアリマス、猪野毛委員カラ此ノ治安維持法ハ國體擁護ノ重大立法デアラガ故ニ、苟モ國體觀念ニ付テ疑惑ヲ持タルガ如キ態度デアツテハ罷リナラス、第一ノ要件ハ政府自ラ信用ヲ持ツコトデアルト云フコトガ前提トナリマシテ、斯ウ云フコトヲ述ベラレテ居ルノデアリマス、是ハ今速記録ヲ調べテ來タノデアリマスガ、其ノ内容ニ「治安維持法ノ結末ヲ付ケル前ニハ、近衛總理大臣ノ出席ハムツカシイト常識上考ヘラレルノデス、所ガ此ノ法案ハ何ト申シマシテモ、事國體ノ變革ニ關スルヤウナ重大法案デアル、而シテ近衛總理大臣ノ過去ノ國民ニ與ヘタル所ノ常識ガ、頗ル疑問ニ打タレテ居ルモノガアツタノデアリマスカラ、私ハ近衛總理大臣ノ御出席ヲ願ツテ、昔ノ首相ニ思想ヲ説キ聽カシタ所ノ河上博士トノ關係、其ノ後ノ心境ノ

變化ハドウ、轉向ノ工合ハドウ、斯ウ云フ點點デモ詳シク聽カナクテハ相成ラスト思ヒマス」ソレカラ次ニ「近衛公ガ御病氣デ御缺席トアレバ已ムヲ得マセヌカラ、ソレデ國務大臣ノ連帶責任ノ意味ニ於キマシテ、閣員ノ長老デアラレル內務大臣カラ此ノ點ニ付テ出來得ル限りノ御答辯ヲ戴キタイ」此ノ質問デアリマス、更ニ其ノ質問ノ趣旨辯明ノ中ニ近衛總理大臣ニ付テハ、先刻申シマシタ通り、國民ニ相當ノ不安ガアル、京都大學在學時分ヨリノコトカラ、新體制ト言ウテ「ナチス」ヤ「ロシヤ」邊ノ體制ヲ入レテ、サウ言ハレデカラ方々ノ空氣ガ非常ニ惡クナツタト云フヤウナコトヲ綜合シテ、國民ハ之ヲ非常ニ心配シテ居ル」斯ウ云フ御發言ガアツタノデアリマスガ、此ノ重要ナル猪野毛委員ノ御發言ニ對シテ、洵ニ遺憾ナガラ其ノ席ニ居ラレタ內務大臣ハ、何等ノ御釋明モ、御言及モ、御答辯モナカッタノデアリマス、私ハ事極メテ重要デアルト考ヘルノデアリマス、苟モ總理大臣ノ身上ニ關スル重大問題デアリ、更ニ此ノ委員會ノ使命ニ鑑ミマシタナラバ、正ニ思想國防ノ完璧ヲ期スル爲ニ、此ノ法案ノ審議ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、猪野毛委員ノ言ハレル通り、若シ萬一ニモ總理大臣ノ思想ニ何等カノ疑惑ガ差挾マレテ居ルトスラバ、極メテ重大ナル問題デアリマス、猪野毛委員ノ發言ノ中ニモアリマシタ通り、閣員ハ正ニ連帶責任デアリマス、其ノ大臣ガ此ノ重大ナル御發言ヲ御聽キニナツテ、其ノ儘何等御言及ガナカッタコトハ、洵ニ遺憾千萬ダト思ヒマス、斯ノ如キ問題ガ此ノ儘放任サレルナラバ、其ノ影響スル所極メテ重大デアルトコトヲ憂ヘルノデアリマス、折角司法大臣

御出席デアリマスカラ、司法大臣モ亦閣員ノ一員トシテ、固ヨリ總理大臣ノ御心境、其ノ御信念ハ十分御承知ノ筈デアリマスカラ、御承知デナケレバ、司法大臣ニ、言フマデモナク内務大臣モ同然デアリマスガ、苟モ思想上ノ疑惑ヲ持タレタ總理大臣ノ下ニ、一刻モ國政ヲ裁理スルノ任務ニ當ラレ

ル筈ガナイノデアリマス、其ノ點ドウカ明確ニ司法大臣カラ御言明ヲ願ヒマシテ、此ノ問題ニ對スル一切ノ疑惑ヲ一掃致シタイト思フノデアリマス、若シモ此ノ猪野毛委員ノ御發言ニ對シテ、其ノ總理大臣ノ御所見ヲ伺ヒマシテ、御答辯ノ如何ニ依ツテハ私モ相當意ヲ決シテ御伺ヒシナケレバナラヌト思フノデアリマス

○服部委員長 委員長トシテ三田村君ニ御尋ね申上ゲマス、司法大臣ガ御出席デアリマスガ、司法大臣トシテ御答へカ、國務大臣トシテ御答へヲ御求メニナツテ居ルノデスカ

○三田村委員 兩方デアリマス、司法大臣トシテ此ノ治安維持法ノ立案ノ責任者デアリ、又思想事犯檢察ノ責任官廳デアル其ノ長官トシテ、更ニ國務大臣トシテ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○柳川國務大臣 過日猪野毛サンノ質問ノ當時、總理大臣ノ思想上ノコトニ言及セラレタサウデアリマシテ、當時私ハ其ノ席ニ居リマセヌデ承ツテ居リマセズ、政府委員ヨリ聴取ツタ次第デアリマス、只今三田村サンノ御話ニ依リマシテ、其ノ内容ヲ一層詳細ク承ツタデアリマスガ、私ハ左様疑惑ヲ懷クヤウナコトハ全然ナイト信ジマス、殊ニ外來思想ニ對スル總理大臣ノ御考ハ竝ニ態度ハハツキリシテ居ルト存ジテ居リマス、

左様疑惑ヲ懷ク如キヤウノコトハ全然ナイト固ク信ズル次第デゴザイマス

○三田村委員 宜シウゴザイマス

○服部委員長 ソレデハ眞鍋君ニ對スル質問ニ付テ御答辯願ヒマス

○秋山政府委員 公事結社ト云フノハ、其ノ公共ノ目的デアル事項ガ政事以外ノ公共ノ利害ニ關スル結社デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、其ノ例トシマシテハ衛生組合ノ如キモノハ之ニ入ルモノト考ヘマス、是ハ司法省ノ事務的ノ解釋デアリマシテ、是レ以上ノコトハ豫算總會ニ於テ法制局長官ガ御述ベニナルコトニナツテ居ルサウデアリマスカラ、私カラハ此ノ程度ニ申上ゲテ置キマス

○眞鍋(勝)委員 ソレ以上ハ御答辯ガ出來ナイト云フコトデ、實ハ昨日カラ法制局長官ノ御出席ヲ求メテアルノデアリマスガ、一向御見エニナラヌ、五分カ十分アツタナラ直グ分ルコトデ事柄ハ至極簡單ナンデス、併シソレヲ追究スルガ爲ニ、本法案ガ此ノ委員會ヲ離ルコトガ一日遅レルト云フコトハ遺憾デアリマス、今豫算委員會ノ秘密會デ、秘密ニ相談シテ居リマスガ、非常ニ紛糾シテ居ル、而シテ唯今法制局長官ガ豫算總會ニ答辯サレルトコトデアアルガ豫算總會ニ於テハマダ大政翼贊會ニ關シテハ餘計質問シテ居ナイ、是カラ這入ラウトスル所デ、島田委員ガ出テ、政府ノ答辯ハ甚ダ統一ヲ缺カラ、統一シタ一本ノ考ヘヲ發表シロ、サウスルト質問モ極メテ順調ニ行クカラト云フノデ、島田委員ノ發言ニ依ツテ、近衛總理大臣ノ聲明トナツテ、其ノ聲明ニ對シテ質問ガ行ハレルノデアリマスガ、其ノ質問ハ今尙ホ一ツモ行ハズシテ、今朝新聞ノ報道ニ依ル

ト、翼贊會ノ理事會ノ議ヲ經テ獨斷的ニ各委員ニハモウ質問ハ許サズシテ、島田氏ガ一人デ質問ヲヤツテ、ソレデ打切りト云フヤウナコトニナツテ居ツタ、一體島田サンガ幾十人ノ委員ノ意見ヲ悉ク持ツテ居ルト云フナラ鬼毛角、凡ソ人格ガアル以上ハ意見ガアル、一人ガ悉ク誰デモノ意見ヲ代表スルト云フヤウナコトハアリ得ナイノデアリマスガ、兎角此ノ翼贊會ノ行動ヲ見ルトドウモ翼贊會ガ議會ニ關與シ、議會ヲ「リード」シテ居ルヤウニ見エル、而モ計畫的ニ操縦、指揮シテ居ルヤウナ觀ヲ呈シテ居ル、是ニ於テ益、疑問ハ深クナル、即チ何時豫算總會デアルカ、一寸見當ハ付カヌノデアリマスガ、併シ今申上ゲルヤウナ事情デ、此處ヘ法制局長官ガ來レバ、來レルトコトデアリマスガ、餘程此ノ委員會ヲ輕ク見テ居ルヤウデアアル、馬鹿ニシテ居ルノダト思フ、甚ダドウモ怪シカラヌ、若シ是ガ委員會ノ初メデアツタ中々許サルベキデアリマセヌ、專ニ憲法上ノ問題デアリマス、統治、大權ニ關シ、議會制度ニ關スル問題デアリマシテ、吾々ノ先輩ガ血ヲ流シ、苦心慘澹粉骨碎身ノ後、而シテ又英邁ナル明治大帝ノ御制定ニナツタ欽定憲法ノ解釋上、ドウシテモ聽イテ置カナケレバナラヌ事柄ナンデス、デスカラ一日ヤ日延バシテモ聽カナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、此ノ委員會モ相當審議ヲ盡シタト思ヒマスシ、今申上ゲマシタヤウナ事情ガアリマスノデ、私ハ遺憾ナガラ法制局長官ニ質スコトヲ得ズシテ此ノ委員會ヲ終ルノデアリマスガ、昨日モ申上ゲマシタ如ク、帝國議會ナルモノハ謂ハバ欽定ノ大政翼贊會デアリマス、所謂問題ノ大政翼贊會ナルモノハ私設ノ翼贊會デアアル、之ヲ家庭ニ譬ヘテ見ルナラバ、帝國議會ハ正統ノ嫡出子ナンデス、所謂大政翼贊會ナルモノハ私生子カ庶子ナンデス、此ノ私生子、庶子ガ今日此ノ議會ニ臨ンデヤツテ居ル所ヲ見ルト、今日アタリノ總會デモアレダケノ混亂ヲ來シテ、之ヲヤツテ居ルノヲ見ルト、所謂翼贊會ノ役員ナルモノガ、計畫的ニ此ノ議會ヲ操縦、指揮シ、「リード」シテ居ルコトハ明カデアリマス、シテ見ルト嫡出子ヲ除外シテ、庶子ガ出シヤ張ツヤツテ來テ居ルノデスカラ、家庭的ニ紛淆ヲ來スノハ當リ前ナンデアリマス、是位憲法ニ欽定セラレタル所ノ議會ヲ輕視シテ居ルコトハアルマイト思フ、是ガ政事デナクシテ何デアルカ、而シテ之ヲ外ニシテハ所謂翼贊會ノ堂々タル所ノ事務所ヲ構ヘテ、凡ソ日本精神ト違ツタ所ノ贅澤ヲシテ居ル、而モソレヲ構成シテ居ル所ノ者ハ、所謂治安維持法ニ於テ取締ラナケレバナラヌヤウナ赤イ分子ヲ多數ニ含ンデ居ル、大キク言ヘバ共產思想ノ貯水池トデモ言フヤウナ有様デアアル、而シテ近衛總理大臣ハ政事結社ト云フノハ獨自ノ政策ヲ立テテ之ヲ實行セントスルモノガ即チ政事結社デアルト言ハレテ居ル、政府ノ抱懷スル所ノ意見、又ハ政策ヲ支持シ、之ヲ擁護シ、之ヲ宣傳スルヤウナモノハ政事結社デヤナイト言ハレテ居ルガ、所謂此ノ大政翼贊會上層部ガ出デテ演說スル所ヲ見ルト、是等ノ域ヲ遙カニ超脱シテ、堂堂タル所ノ意見ヲ述べ、獨自ノ政策ヲ高調シ甚ダシキニ至ツテハ堂々議會否認ノ演說マデモヤツテ居ルヤウナ情勢ナンデアリマス、之ヲ以テシテモ翼贊會ハ政事結社ニ非ズ政事ヲ逸脱シテ居ルト見ルコトガ出來ル

ト、翼贊會ノ理事會ノ議ヲ經テ獨斷的ニ各委員ニハモウ質問ハ許サズシテ、島田氏ガ一人デ質問ヲヤツテ、ソレデ打切りト云フヤウナコトニナツテ居ツタ、一體島田サンガ幾十人ノ委員ノ意見ヲ悉ク持ツテ居ルト云フナラ鬼毛角、凡ソ人格ガアル以上ハ意見ガアル、一人ガ悉ク誰デモノ意見ヲ代表スルト云フヤウナコトハアリ得ナイノデアリマスガ、兎角此ノ翼贊會ノ行動ヲ見ルトドウモ翼贊會ガ議會ニ關與シ、議會ヲ「リード」シテ居ルヤウニ見エル、而モ計畫的ニ操縦、指揮シテ居ルヤウナ觀ヲ呈シテ居ル、是ニ於テ益、疑問ハ深クナル、即チ何時豫算總會デアルカ、一寸見當ハ付カヌノデアリマスガ、併シ今申上ゲルヤウナ事情デ、此處ヘ法制局長官ガ來レバ、來レルトコトデアリマスガ、餘程此ノ委員會ヲ輕ク見テ居ルヤウデアアル、馬鹿ニシテ居ルノダト思フ、甚ダドウモ怪シカラヌ、若シ是ガ委員會ノ初メデアツタ中々許サルベキデアリマセヌ、專ニ憲法上ノ問題デアリマス、統治、大權ニ關シ、議會制度ニ關スル問題デアリマシテ、吾々ノ先輩ガ血ヲ流シ、苦心慘澹粉骨碎身ノ後、而シテ又英邁ナル明治大帝ノ御制定ニナツタ欽定憲法ノ解釋上、ドウシテモ聽イテ置カナケレバナラヌ事柄ナンデス、デスカラ一日ヤ日延バシテモ聽カナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、此ノ委員會モ相當審議ヲ盡シタト思ヒマスシ、今申上ゲマシタヤウナ事情ガアリマスノデ、私ハ遺憾ナガラ法制局長官ニ質スコトヲ得ズシテ此ノ委員會ヲ終ルノデアリマスガ、昨日モ申上ゲマシタ如ク、帝國議會ナルモノハ謂ハバ欽定ノ大政翼贊會デアリマス、所謂問題ノ大政翼贊會ナルモノハ私設ノ翼贊會デアアル、之ヲ家庭ニ譬ヘテ見ルナラバ、帝國議會ハ正統ノ嫡出子ナンデス、所謂大政翼贊會ナルモノハ私生子カ庶子ナンデス、此ノ私生子、庶子ガ今日此ノ議會ニ臨ンデヤツテ居ル所ヲ見ルト、今日アタリノ總會デモアレダケノ混亂ヲ來シテ、之ヲヤツテ居ルノヲ見ルト、所謂翼贊會ノ役員ナルモノガ、計畫的ニ此ノ議會ヲ操縦、指揮シ、「リード」シテ居ルコトハ明カデアリマス、シテ見ルト嫡出子ヲ除外シテ、庶子ガ出シヤ張ツヤツテ來テ居ルノデスカラ、家庭的ニ紛淆ヲ來スノハ當リ前ナンデアリマス、是位憲法ニ欽定セラレタル所ノ議會ヲ輕視シテ居ルコトハアルマイト思フ、是ガ政事デナクシテ何デアルカ、而シテ之ヲ外ニシテハ所謂翼贊會ノ堂々タル所ノ事務所ヲ構ヘテ、凡ソ日本精神ト違ツタ所ノ贅澤ヲシテ居ル、而モソレヲ構成シテ居ル所ノ者ハ、所謂治安維持法ニ於テ取締ラナケレバナラヌヤウナ赤イ分子ヲ多數ニ含ンデ居ル、大キク言ヘバ共產思想ノ貯水池トデモ言フヤウナ有様デアアル、而シテ近衛總理大臣ハ政事結社ト云フノハ獨自ノ政策ヲ立テテ之ヲ實行セントスルモノガ即チ政事結社デアルト言ハレテ居ル、政府ノ抱懷スル所ノ意見、又ハ政策ヲ支持シ、之ヲ擁護シ、之ヲ宣傳スルヤウナモノハ政事結社デヤナイト言ハレテ居ルガ、所謂此ノ大政翼贊會上層部ガ出デテ演說スル所ヲ見ルト、是等ノ域ヲ遙カニ超脱シテ、堂堂タル所ノ意見ヲ述べ、獨自ノ政策ヲ高調シ甚ダシキニ至ツテハ堂々議會否認ノ演說マデモヤツテ居ルヤウナ情勢ナンデアリマス、之ヲ以テシテモ翼贊會ハ政事結社ニ非ズ政事ヲ逸脱シテ居ルト見ルコトガ出來ル

デアリマセウカ、之ヲ家庭ニ譬フレバ恰モ庶子ガ嫡子ヲ排シテ家庭ヲ支配シ跳梁跋扈セル有様デアツテ、外ニ於テハ政府ノ政策或ハ意見、是等ヲ超脱シテ政事運動ヲヤツテ居ラレルノデアアル、ソレヲシモ公事結社ト見ルト云フコトハ斷ジテ許サヌノデアリマス、如何ナル解釋ヲシタ所ガ是ハ公事結社デアリマセヌ、公事結社トハ今司法當局ノ御説明ニアツタ通り、政事以外ノコト例ヘバ衛生組合ノ如キモノナリト仰セラレテ居ル、即チ治安警察法ノ第三條ニ「公事ニ關スル結社又ハ集會ニシテ政事ニ關セザルモノト雖モ安寧秩序ヲ保持スル爲届出ヲ必要トスルモノアルトキハ命令ヲ以テ第一條又ハ第二條ノ規定ニ依ラシムルコトヲ得」トアリマシテ、政事以外ノコトヲヤルノガ即チ所謂公事結社デアリ、シテ見ルト、此ノ所謂大政翼賛會ノヤツテ居ルコト云フモノハ、議會ノ中ニ於テハ今申上ゲタヤウナコトヲヤツテ居ルシ、議會ノ外ニ於テハ政府ノ抱懷スル所ノ政策意見ヲ超脱シテ居ルノミナラズ、之ヲ構成スル所ノ分子ハ日本思想ニアラザル所ノ危險ナル外國思想ヲ以テヤツテ居ル、何レノ點カラ考察致シマシテモ、此ノ大政翼賛會ナルモノハ公事結社ニアラズシテ堂々タル政事結社デアルト云フコトハ一點疑ヒノナイノデアリマス、之ヲ長官ガ此處ニ來テ、説明ガ出來ルナラヤツテ貰ハウト思フノデアリマスガ、私ハ甚ダ遺憾デアリマスガ、之ヲ質スコトガ出來ナイノデアリマス、併シ私ハ以上ノ如キ考ヘヲ持ツテ居リマスカラ、司法當局ニ於カレマシテモ、此ノ點十分御考慮ニナリマシテ、此ノ法ヲ運用サレマスニ就テハ昔カラ吾等ノ魚ハ逸レテ小魚網セラル、ト云フコトガ言ハレテ居

リマスガ、治安維持法ニ規定サレテ居ル所ノ三大項目以外ニモ、今申上ゲマスルヤウナ多分ノ疑義ヲ持ツテ居ル所ノ大政翼賛會ニ對シテハ、逸脱シタ思想ヲ持チ、逸脱シタ言論ヲシテモ、是ハ公事結社デアアルガ故ニ關スル所ニ非ズト云フヤウナコトニナリマシテハ、是ハ國民ノ思想上許サレヌコトデアリマスカラ、ドウカ十分ニ御賢慮アラシコトヲ切望致シマシテ、私ノ質問ハ遺憾ナガラ之ヲ以テ打切りマス

○服部委員長 眞鍋君ノ折角ノ重大ナル質問ヲ、此ノ程度デ打切ツテ戴イテ、此ノ審議ノ進行ヲスルヤウニ御考ヘ下サイマシタコトニ對シマシテハ深ク感謝致シマス、是デ質疑ハ大體終了致シマシタモノトシテ、終結致シタイト思フノデアリマスガ、猪野毛君マダ御質問ガアリマスカ

○猪野毛委員 マダ少シアリマス

○服部委員長 ソレデハ簡單ニ願ヒマス——

猪野毛君

○猪野毛委員 質疑ト言ツテ宜シイカ、議事進行ト言ツテ宜シイカ、一身上ノ辯明ト言ツテ宜シイカ、色々ノ因果關係ニナリマスガ、只今同僚三田村君ノ發言ニナリマシタコトニ付キマシテ、司法大臣ノ御辯明ガアリマシタガ、何ト申シマシテモ、一國ノ總理大臣ノ思想ニ付テノ國民ノ疑惑、斯フ云フ重大ナコトデアリマスルノデ、深ク吾等モ國民ト共ニ——政府モサウデアリマセウガ、心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、今司法大臣ノ御答辯ニ依リマス、近衛總理大臣ハ外來ノ思想ニ對シテハ儼平タル信念ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ仰シヤイマシタ、而シテ近衛公ノ思想ハ健全デアルト云フ——健全ト云フヤウナ御言葉ハ用ヒマセ

ヌケレドモ、サウ云フ意味ノコトヲ仰シヤツタノデアリマスガ、私ガ此ノ間政府ニ御尋ネシマシタコトハ、國民ハ近衛公ニ對シテ心配ヲ致シテ居ツタ、是ガ貴族院議員トナラレタ、ナラレタノハ宜シイケレドモ、今度ハ樞密院議長トナリ、貴族院議長、第一次近衛内閣、第二次近衛内閣トナツテ内閣ヲ二回モ組織ヲサレタ、斯ウ云フ重大ナル局ニ當ラレタノデ、非常ニ國民ガ心配シテ居ル所ニ持ツテ來テ、今度ハ翼賛會ト云フヤウナ違憲性アル問題ガ發生シテ來タカラ、アレヤ是ヤヲ綜合スルト、ドウモ是ハ困ツタ、斯フ云フヤウナ事變ノ時ニ是ハ困ツタコトバカリ多イガ、一體痛ハ何處ニアルノダト國民ガ突ツ込デ考ヘルト、兎角モ近衛公ノ所ニ責任ガアル、近衛公ニハ一國ノ總理大臣トシテノ責任ハ無論アリマスガ、一體近衛公ガドンナ考ヘヲ持ツテ政治ヲヤツテ居ルノカ、斯ウ又皆ガ心配シ出シテ來ルノデス、サウスルト近衛公ノヤラレタコトヲ色々綜合シテ判斷ヲ下スト、ヤハリ近衛公ノ學生時分カラノ人生觀トカ政治觀ト云フモノガ出來テ居ツテ、ソシテ内閣ノ總理大臣トナラレテ政治ヲヤルモノデアルカラ、色々ナ其處ニ憂フベキ變ナ政治ガ現ハレルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ結論ガ出テ來ルノデアリマス、只今司法大臣ハ此ノ事ニ付テハ非常ニ御安心ニナツタヤウナ御答辯デアリマシタガ、本當ニサウダト云フコトヲ國民ニ安心ヲサセナクテハイカスト存ジマス、アナタノ仰シヤルコトトシテ私ハ信用シマセウ、アナタノ人格ハ過去ノ色々ノ事實カラ、アナタノ仰シヤルコトニハ間違ハナイト信ジマスガ、何分ニモアナタハ閣員ニナツテ居ラツシヤル、近衛公ノ奏請

ニ依ツテ閣員ニナラレタ人デ、一蓮托生、責任ノ分擔者デアルト云フノデアリマスカラ、野ニ居テ柳川サンガ保證サレル方ハ、是ハ餘程信用ガ高いノデス、閣員ニナツテ居テ言ハレルト、ソレハ國民モ惡イカ知レヌケレドモ、ドウモ一緒ニ居レバア言フノモ已ムヲ得ヌダラウ、斯ウ云フ風ナ割引ツタ見方ヲスルノモ亦一理アルコトデアリマス、一ツノ例ヲ擧ゲテ見ルト、平沼内務大臣ノ翼賛會ニ對スル御言葉ナドモ、甚ダ奧齒ニ物ノ挾ツタヤウナ御答辯ナノデアリマス、平沼内務大臣ノ過去ノ性格、信念カラ考ヘテ見レバ、少シクドウモ煮エ切ラナイ所ノ、アヤフヤナ答辯ヲナサレタ、ソレハ何デアルカト云フト、詰リ同ジ内閣ニ入ツテ居ルナラバ、ヤハリ烏ノ頭ハ白イモノトマデハ言ハヌデモ、稍、灰色位ナコトヲ言ツテ辯護スルノガ、是ガ一ツノ道德カモ知レマセヌケレドモ、非常ナ色々ナ意味ニ於テ濁ルノハ已ムヲ得ナイ、ソレダカラ野ニ居ラレテハ只今ノ司法大臣ノ御言葉ナラバ、即時國民ノ頭ニ入リマセウケレドモ、何ヲ言ウタ所デ同ジ傘ノ中ニ居ラレル方カラ、サウ云フ風ニ仰シヤラレタ日ニハ、丁度被告側ノ者ヲ證人ニ喚ンデ、其ノ證人ガ被告ノコトヲ、此ノ人ハ大丈夫デスヨト言ツテ保證シテモ、判事ガ信用セヌヤウナモノデス(笑聲)第三者カラ證人ニ立ツノデナゲレバ……

○服部委員長 猪野毛君御發言中デスガ申上ゲマス、先刻猪野毛君カラ司法大臣ノ御出席ヲ好都合トシテ茲ニ答辯ヲ求メラレタノデ、司法大臣ガ其ノ答辯ヲセラレタノデアリマスルカラ、アナタノ再質問ハ其ノ意味ヲ能ク諒トシテ、一ツ簡單ニ御質問ヲ願ヒマス

○猪野毛委員 承知致シマシタ、能ク諒トシテ質問ヲ致シマス、以上申シマシタヤウナ次第デアリマスルカラ、且ツ只今ノ司法大臣ノ御答辯ハ非常ニ大難把デ、大丈夫カト言フト大丈夫ダ、斯ウ云フ御答辯デアリマスルガ……

○服部委員長 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○服部委員長 速記ヲ始メテ……

○猪野毛委員 第一次近衛内閣ノ改造ノヤウナコトモ、閣員ナドデモ簡單ニ半分程バタ／＼ト改造サレテ居ル、日本ノ道德トシテハ内閣ノ本質ハ一蓮托生デアリマス、用ガナケレバ切り捨テロ、俺ダケ残ツテ居ルト云フコトハ日本ノ道德ト違フ、斯カル點ヲ參考ニシテ近衛公ノ思想ヲ研究シテ行カナケレバナラス、吾々ハ近衛公ノオ若イ時ノコトハ今申シマセヌ、總理大臣ニナラレテカラノコトヲ申上ゲルノデアリマス、ソレカラ第二次内閣ニナリマシタ時ニ、内務大臣ト司法大臣ハ幾月モ経タヌ内ニ改造ナサレタ、議會デ此ノ質問ヲスル者スラナイノハドウ云フ譯デアルカ、但シ内相、法相ノ改造ハ思想的ニ上出來ト私ハ思フガ、凡ソ國民ノ聽カント欲スル所ハ、議會デ政府ノ答辯ヲ得テ國民ノ疑惑ヲ解イテヤルコトガ、吾々議會ノ中ニ居ル議員ノ當然ノ任務デアリマセウ、疑問ノ點ヲ其ノナリニ投ゲテ置イテ、唯議事ヲ進行シテ、質問モセズシテ有耶無耶ニヤルカラ、議會ハ一體何ヲシテ居ルノダ、ソナ何モセヌ所ノ議會ナラ必要ガナイカラ、翼贊會ニ高度ノ政治ヲヤラシタ宜イデヤナイカト云フヤウナ議會否認、憲法蹂躪ノ輿論ガ起ラウトスルノデス、之ヲ起サウト云フ所ノ計畫ガアル

カモ分ラヌ、ココマデ國政ニ與カル者ハ四方八方カラ此ノ事ヲ憂ヘテ考ヘナクチヤナラヌト私ハ思フノデアリマス、北白川宮殿下ガ日清戰爭ノ時ナド如何デアリマシタカ、金枝玉葉ノ御身デ戰地デ御病氣ニ罹ラセ給フタトキ、御國ニ御歸リニナラレテ御靜養遊バサレテハト申上ゲ奉ツタラ、士卒ダケヲ戰地ニ殘シテ我ノミドウシテ歸ラレルカト仰シヤツタデハアリマセヌカ、此ノ有難イ御言葉ハ薩摩琵琶ニ今尙ホ殘ツテ居ル、薩摩琵琶ヲ謡ツタノハ吾々ハ子供ノ時アリマシタガ、何時モ此ノ歌デ私ハ涙ニ咽ンダノデアリマス、北白川宮殿下ノ此ノ御一言ガ如何ニ多クノ國民ニ、將兵ニ、大刺戟ヲ與ヘラレテ居ルカ分ラヌ、詰リ一蓮托生、ドウシテ俺ダケ歸レヨウカト、此ノ御上官ノ勿體ナイ御仁慈、陸軍ノ政府委員モオイデニナリマスガ、是ハ日本軍隊ノ最モ良イ所ノ長所ト考ヘラレマス、内閣ニ於テモ其ノ通りデス、ソコヘ行クト、マア過去ニ屬シマスガ、原サンノ如キハ世間ハ愚圖々々言ウテモ全ク一蓮托生主義デ自分ガ一人デ責任ヲ負ウテ閣員ノ足ラヌ所ハ自分ガ補ヒ、閣員ノ所ヘ矢ガ來タラバ自分ハ其ノ矢ヲ引受ケテ、辯明シテ突貫シテ行カレタデハアリマセヌカ、少シ彼此レ他カラ言ハレルト是ハイカスカラ切捨テラレル、ソレオ前ハ人氣ガ惡イトテ又切捨テラレル、ソシテ最後マデ己ガ殘ツテ居ルカト思フト、其ノ己マデモ手足ヲナクシテシマツテ倒レル、是ハ當然デス、斯ウ云フ思想ハ自由思想ト云フカ、個人思想ト云フカ、日本精神トハ遠イヤウナ氣ガ吾々ハスル、是ガ今日ノ外來ノ思想ト結付イテ來ル、成程赤ト云フモノハ外國カラ來タ、併シ今ノハ直接赤ト云ウテ來ヌノデ

ス、近衛公ヲ赤化サセヨウナド言ツタツテ近衛公ハ今更赤化ナドシナイダラウケレドモ、危險ナ個所ヘ手ヲ代ヘ品ヲ替ヘシテ形マデ替ヘテ段々赤ガ入ツテ來ルノデス、日本特有ノ美シ一蓮托生ノ考ヘヲ捨テサセ、都合ノ好イコトヲ自分ダケケル、氣ニ入ラス者ハ切捨テラレル、斯ウ云フ考ヘガ跋扈シテ來レバ、詰リ國民ノ思想ガ惡クナリ、健全性ガ弱ルノデス、ソコヘ總テノ惡イ思想ト云フモノハ乘ジテ來ル、之ヲ私ハ憂ヘルノデアル、翼贊會ノ如キモノハ度々此處デモ問題ニナリマシタシ、豫算委員會デモ今大問題ニナツテ居リマスガ、是ハヤハリ近衛公ガ出テ來ナケレバ承知ヲシナイデセウ、ドウ云フ譯カト言フト、ヤハリ總理大臣ガ寢テ居ルヤウデハ議會モ國民モ信用シナイ、國民ノ信用サヘアレバ此ノ際デアルカラ物ハ簡單ニ片付クノデアリマス、私ハ一國ノ思想上内閣總理大臣ノ思想ト云フコトハ、頗ル大事ナコトデアラウト確信スル、翼贊會ノ如キモノハドウデス、地方ニ於テハ檢事正、裁判長、司令官ナドモ翼贊會ノ役員ニナツテ居ルヤウデス、知事ハ無論ノコト、斯ウ云フ方々ガ皆關係ヲシテ居ツテ、サウシテ高度ノ政治性ヲ持タセテ且ツ内閣ト表裏一體ダト高言シ、東京ニ於ケル本部ノ狀態ヲ見ルト又アノ通りノ有様デス、思想上不健全ナル幹部ガ澤山居ルト云フコトハ今日一般ノ常識ニナツテ居ル、誰ガ發案シタカト言ヘバ、詰リ近衛總理大臣デアアル、近衛サンヲサウサセタ者ハ陰ニ、尻ニ付イテ居ルカモ知ラスケレドモ、ソナ裏面ノコトマデ彼此レ言フ必要ハナイ、現ハレタ所ニ依レバ詰リ近衛公ノ大責任デス、斯ウ考ヘテ見ルト思想ノ不健全ナモノハ、平

ク言ヘバ人ニ操ラレルノデアリマス、人ニ利用サレ易イノデアリマス、「ロボット」ニ居ル近衛公ハ氣ノ毒ダト云フ人サヘアリマス、本當カラ言ヘバ影ニ居ツテ形ノ分ラヌヤウナ人ガ、危イコトヲ計畫スルコトハ歴史ガ之ヲ證明シテ居リマス、サウシテ近衛公ヲ盛リ立テタル人ハ何ヤラカスカ分ラスト云フコトガ、今日ノ本當ノ心配デアアリマセヌカ、何十年ノ間國事ニ非常ナ心配ヲサレタ陸海軍ノ元老デモ、樞密顧問官ノ方々デモ、非常ナ心配ヲサレルノハココデス、苦勞ノ足ラヌ若イ者ノ政治ニ付テハ餘程注意ヲシテ貫ハナクテハナラヌト云フノハココデス、之ヲ大難駁ニ議會ナドガ取扱ツテ居ル、サウシテ議會ガ濟ンデアトカラドウモアレデヤナカツタ積リデアツタガト云フヤウナコトヲ言ツテモ、最早其ノ時ハ時期ガ遅レテ取返シガツキマセヌ、吾々ハ自己ノ責任ノ立場ノトキ起ツタ期間ニ、政府ニ申上ゲルコトダケハ申上ゲテ、反省ヲ願フダケハ願ヒ、ソレデモ聽カレナイ時ハ、是ハ私ハ國ノ運命ダト思ツテ諦メマス、本當ハ諦メ切レヌノダケレドモ、ココデハ諦メルト云フ穩カナ言葉ヲ申上ゲテ置キマセウ、何トシテモ國ヲ間違ヘサセテハナラヌ、ケレドモ只今申上ゲタヤウナ思想、總理大臣ノヤウナ思想ヲ國民ガ多ク抱クヤウニナツテ來テ、サウシテ實質的ニ翼贊會ノヤウナ議會否認、憲法政治否認ト云フヤウナ議會ヲ提灯ノ灯リニシテ、翼贊會ハ百燭光ノ電燈ノヤウナコトニスレバ、消極的ナ政體ノ破壊ニナルノデス、之ヲ私共ハ非常ニ憂ヘルノデアリマス、赤ノ計畫シテ居ルノハ其ノ手デスヨ、今ハ赤モ巧妙ニナリマシタカラ、驀ラニ私有財産制度否認トカ、

日本ノ國體否認ナドト云フソナ眼ニツク

ヤウナ形ヲ以テ進ンデハ來ナイ、手ヲ代

ヘ、品ヲ替ヘ、人ノ考ヘ付カヌ所ノ作戰方

法ヲ以テ來ルノデス、ソレニハ日本ノ憲法

政治ヲ破壞スル、議會政體ト云フモノニ紛

淆ヲ來サシメテ、摩擦ヲ起サセテ混亂狀態

ヲ起サス、是ガ彼ノ手デアルト云フコトハ、

チャント謀報機關ヲ持ツテ居ル政府ハ御分

リノ管デス、之ニ乗ル譯デモナカラウガ、

偶、合致スルヤウナ嫌ヒノアルコトヲ私ハ憂

ヘル、ソコデ私ハ只今ノ司法大臣ノ言ヲ信

ジテ、一先ヅ此ノ席ニ於テハ先ヅ近衛公

ハ思想上心配ナシト致シテ置キマスケレド

モ、更ニ今後ノ實績ヲ見ルト云フ條件附ノ

私ノ承服デス、私ハ是デ條件附ノ承服ヲシ

マスガ、ドウカ政府ニ於キマシテモ、今後

ハ國民ニ對シテ國民ヲ心カラ信頼サス所ノ

何カ一ツノ良イ方法ヲ政治的ニ考ヘテ下サ

ツテ、サウシテ國民ニ思想上安堵ノ思ヒヲ

與ヘテ戴キタイコトヲ、私ハ御願ヒ致ス次

第デアリマス、之ヲ以テ私ノ質問ト意見ハ

終リマス

○服部委員長 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○三田村委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、

此ノ問題ハ私ハ極メテ重要ナ問題ダカラ、

ココデ提議シタルデス、此ノ問題ニ關シテ

論議サレルナラ大イニヤリマセウ、私ハ一

人デ三日デモ五日デモ徹底的ニヤリマス、

其ノ御考ヘデ委員長ハ御整理願ヒマス、此

ノ問題ニ付テ大イニ論議ヲオヤリニナルト

云フナラ私ハ大イニヤリマス、ソレダケ申

上ゲデ置キマス

○服部委員長 御答ヘ致シマス、此ノ問題

ニ關シテ論議ヲショウト私ハ考ヘテ居リマ

セヌ

○柳川國務大臣 今ノ猪野毛サンノ御質問

デ、私ガ内閣ニ居ル爲ニ、私ノ言葉ガ割引

シテ考ヘラレルヤウニ仰シヤイマシタガ、

私ガ内閣ニ居ルカラ仕様ナシニ申上ゲタ譯

デハゴザイマセヌ、入ル前カラ近衛總理大

臣ノ思想ニ疑惑ヲ抱カナケレバナラヌヤウ

ナコトハナイト固ク信ジテ居ツタ次第デゴ

ザイマス、今現ニサウ信ジテ居リマスカラ、

此ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○服部委員長 委員長トシテ申上ゲマス、

質疑ハ之ヲ以テ終了致シ、又其ノ程度ニ達

シテ居ルモノト考ヘテ居リマス、委員外ノ

中山議員ヨリ、委員外トシテノ質問ヲ許サレ

タイト云フ申込ガアリマス、而モソレニハ

二分間デ宜シイトノ條件ガ附イテ居ルノデ

アリマス、併シ武士ハ相身互ヒ、委員長モ

雅量ヲ示シテ二分間ニ制限セズ、五分間マ

デ御許シヲ致シマス、先刻眞鍋君ガアノ貴

重ナル質問ニ對シテ御遠慮ナサレタ其ノ美

德ニ鑑ミラレテ、五分間ヲ固ク守ツテ質疑

アランコトヲ望ミマス——中山君

○中山福藏君 司法大臣ニ御伺ヒ致シマス、

司法大臣ハ十四、十五ノ兩日ニ互ツテ、三

田村君ト小山田君ノ質問ニ對シテ、私有財

產制度否認ノ取締方針ヲ明示サレテ居リマ

ス、其ノ條項ハ玆ニ色々書イテアリマスガ、

時間ノ關係上讀上ゲマセヌガ、ココニ三年

ノ間ニ治安維持法ノ第一條第二項ニ該當ス

ル所ノ行動ヲスル者ガ結社ヲ組ンデ、アチ

ラコチラニ演說シテ廻ハツテ居ル、アナタ

ノ所謂私有財產制否認ノ通りノコトヲヤツ

テ居ル、是ハ時効ニ掛ラナイ限り警察ニ其

ノ記録ガ現在殘ツテ居ル等デアリマス、是

ハ絕對必要ナコトデアリマスカラ、此ノ法

律ノ改正問題ガ起ツタカラト云ツテ、此ノ

儘放置シテ置クコトハ出來ナイと思ヒマス

ガ、一應兩三年前ノ犯罪ノ記録ヲ司法省ニ

取ツテ、大體其ノ檢舉方針ヲ定メルト云フ

心持ハアリマセヌカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シ

テ置キマス

○柳川國務大臣 今ノ御尋ネハ現行法ニ觸

レルヤウナ行ヒガアツタヤウニ御話デアリ

マシタガ、若シアツタトスレバ、ソレガ認

メラレルナラバ、是ハ取締ノ對象ニナルベ

キモノデアリマスカラ、今マデ取調ベテナ

クテモ、新タニ起ツテ來テモ、現行法ニ觸

レテ居ルモノハ悉ク取締ヲシナケレバナラ

スダラウト思ヒマス

○中山福藏君 私ハ總テノ演說ヲ速記シタ

モノヲ友人カラ戴イテ居リマスケレドモ、

是ハ時間ガナイノデ申上ゲマセヌガ、ドウゾ

斯ウ云フコトハ今日ヲ起點トシテデナク、

マダ改正サレナイ所ノ此ノ法律ニ依ツテ罰

セラレルノハ、當然御研究ニナルコトガ宜

イト思ヒマス、第二點ハ、田中兵務局長ニ

御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、アナタノ思

想統一ニ關スル御答辯ヲ、私全部拜見致シ

マシタ、其ノ中、民主主義、個人主義ト云

フモノヲ排撃スル、是ハ「デモクラシー」ノ

思想デアアル、此ノ二ツヲ含ンデ居ルヤウデ

アリマス、モウ一ツハ共產主義ノ思想ヲ排

撃シナケレバナラス、併シナガラ個人主義

ハ憲法ニ於テ一部認メテ居ル、斯ウ云フコ

トガアル、ソコデ絕對ニ此ノ二ツノ思想ノ

合流シタモノガ「デモクラシー」ダトシテ御

述ベニナツテ居リマスガ、憲法ノ個人ノ自

由ノ範圍ト云フモノハ御認メニナル積リデ、

仰シヤツテ居ルノデセウカ、如何デセウカ

○田中政府委員 憲法ニ許サレテ居ル自由

ハ、明治大帝ノ賜リマシタ自由デアリマ

シテ、「ヨーロッパ」流ノ「デモクラシー」ノ

自由デハゴザイマセヌ

○中山福藏君 ソレヲ承リマシテ、私モサ

ウダラウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、

動モスルト非常ナ誤解ヲ招イテ居リマスノ

デ伺ツタノデスガ、ソレデ分リマシタ、是

ハ經濟人或ハ財界人ノ思想的ノ非常ナ惑亂

ヲ今日持來シテ居ル根本ノ理由ニナツテ居

リマス、デスカラ私ハ特ニ軍部ノ推進的ナ

地位ニアラレル田中兵務局長ニ御聽キシタ

ノデス、今ハ思想統一ノ言葉ヲ非常ニ羅列

シテ居ラレマスルケレドモ、中々批判力ノ

肥エタ人民ノ間ニハビツタリ來ナイ、極言

スレバ本當ニ形式張ツタ世ノ中ニナツテ居

リマス、政府ニハ形ダケ皆ク整ヘレバ思想

ガ統一出來ルト云フヤウナ思召シガアル

ノデハナイカ、實際ノ心ノ底カラ滾々トシ

テ湧イテ盡キザル泉ノヤウナ大精神ヲ、今

日ノ國民ニ植付ケナケレバナラス、併シソ

レハ形式ダケヲ整ヘテモ駄目ダ、形式ヲ離

レテ考ヘテ行カナケレバ、到底駄目ダと思

フ、殊ニ私ガ考ヘルコトハ、日本ハ大變ナ

事態ニ遭遇シテ居リマス、ソコデ私ハ近衛

サンニサウ云フコトヲ望ンデヤ大變ダと思

ヒマスケレドモ、本當ニ凡ユル法律、凡ユ

ル道德律、大政翼賛ノ規則ヲ出サレル前ニ、

近衛サンガ爵位ト勳位ヲ返上シテ、眞裸ニ

ナツテサア來イト出ラレタラ、是デ思想ハ

統一出來ル、此處マデ刻下ノ思想問題ハ來

テ居ルノデス、上層部ニ立ツテ居ル者ガ、

サウヤツテ國民ニ範ヲ垂レルコトニナラナ

ケレバ、國民ノ思想ノ統一ハ出來マセヌヨ、

サウ思ツテ居リマス、ドウデアリマスカ、

教育勅語云々ト云フコトヲ以テ思想ノ統一

ヲ圖ルト云フヤウナ思召シデアリマスガ、私ハ上層階級ニアラレル人々ガ、身ヲ以テ範ヲ垂レルノデナケレバ仕方ガナイト思ツテ居リマスガ、如何デセウカ

○田中政府委員 私ガ教育勅語ヲ以テ眞ニ萬國ニ冠絶セル日本ヲ作ラナケレバナラスト申上ゲマス理由ハ、私ハ軍人デアリマスカラ、日本ノ軍人ニハ「イデオロギー」モ何モアリマセヌ、日本ノ軍隊ハ畏クモ明治十五年ニ賜ハリマシタ軍人勅諭ノ實踐デアリマス、故ニ軍隊ノ精強ハ世界ニ冠絶シテ居ルコトヲ自負シ、又世界モ認メテ居リマス、日本ノ教育勅語ハアレク御讀ミニナリマス、先ヅ「皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ」ト仰セラレテ居リ、私共ハ之ニ依ツテ率先垂範シナケレバナラスト思フ、ソレハチャント謳ツテアリマス、昨日モ貴族院デ申シマシタガ、上層部ガシツカリシナケレバ此ノ國難ノ突破ハ出來ヌト云フコトヲ申上ゲタノト、信念ニ於テ同ジデアリマス、日本ノ國家モ亦教育勅語ヲ實踐シマスレバ、恰モ世界ニ冠タル我が軍隊ト同ジヤウニナルト私ハ確信致シマス

○泉委員 是ニテ質疑ハ終了セラレンコトノ動議ヲ提出致シマス

○中山福藏君 色々ト御尋ネシタイノデスケレドモ、時間ガアリマセヌカラ、德義ヲ重ンジマシテ、委員長ノ仰セ通り止メマス

○服部委員長 只今泉君ヨリ動議ガ出テ居リマスガ、之ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○服部委員長 ソレデハ質疑ハ終了致シマシタ、是ヨリ治安維持法改正法律案ノ討論ニ入リマス

○泉委員 本案ニ付キマシテハ既ニ審議ヲ盡サレマシテ、凡ソ討論ノ歸趨モ分ツテ居リマスカラ、討論ヲ省略シテ直チニ採決セラレンコトヲ望ミマス

○服部委員長 討論省略ノ動議ガ提出サレマシタ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○服部委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ採決ヲ致シマス、原案ニ賛成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○服部委員長 起立總員（拍手）本案ハ原案ノ通り可決確定ヲ致シマシタ、議事ハ之ヲ以テ終了致シマス——此ノ際委員長ハ委員各位竝ニ政府ニ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、本案ハ國家ノ基礎ニ關スル最も重要ナル國體及ビ私有財産制度ニ關スル規定デアリマス、隨テ皆サンハ連日ニ互ツテ御勉勵下サイマシテ慎重ナル審議ヲ重ネラレ、茲ニ修正ナク原案ノ成立ヲ見マシタコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ御同慶ノ至リニ堪ヘマセヌ（拍手）此ノ際此ノ結果ヲ見マシタルコトハ、全ク委員諸君ノ御同情、御指導宜シキヲ得タルニ因ルモノナリト厚ク感謝ヲ致シマス、政府御當局亦鄭重ナル御答辯ヲナシテ下サイマシテ、此ノ際深ク御禮申上ゲテ置キマス、之ヲ以テ終リマス

午後三時三十分散會

衆議院治安維持法改正法律案委員會會議錄第六回中正誤

頁 段 行 誤 正
五六 四 三二 生產黨 集產黨